

大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（平成 18 年度第 2 回）議事概要

日 時 平成 18 年 9 月 21 日（木）15 時～17 時 30 分

会 場 京都大学附属図書館 4 階調査室

出席者（順不同、敬称略）

関西学院大学図書館事務部長 中村順治、同・運営課長 兄井栄子

関西大学図書館次長 市原憲厚、同・図書館事務長補佐 赤木一夫

立命館大学図書館事務部長 大島英穂、同・図書館サービス課長 鳥井真木

同志社大学総合情報センター学術情報課長 落合万里子、同・情報サービス課長 上田裕保

大阪市立大学学術情報総合センター図書情報担当課長 木下順一、

同・運営課長代理 吉井良邦

大阪府立大学学術情報センター学術情報課長 北山博一、同・学術情報課長補佐 中村恵信

大阪大学附属図書館事務部長 平元健史、同・情報サービス課長 杉山宗武

神戸大学附属図書館情報管理課長 奥田正義

京都大学附属図書館事務部長 大埜浩一（委員長）、同・情報サービス課長 片山淳、

同・総務課専門職員 島文子（事務局）

1. 協議事項

1. 「近畿イニシアティブ運営要項」の再改定

委員長より、（資料 2）に基づき、趣旨と内容の説明があった。事前協議により、各委員の賛同が得られており、提案どおり了承した。平成 18 年度の監事館として、大阪府立大学学術情報センターと同志社大学総合情報センターを選出し、了承した。

2. 能力開発事業計画

(1) 基礎研修「初任者研修」の実施

能力開発専門委員会主査より、（資料 3-4）に基づき、募集要項、日程、開催通知、講師謝礼等基準についての説明があった。審議の結果、原案を一部修正することとし、了承した。審議の概要は以下のとおり。

- ・ 「募集要項」について
 - 「1. 主旨と目標」からすると、今年度は中級研修を行なうのではないかとアンケート結果から初任者研修希望が多かったため、今年度をスタートにして隔年開催とした。「1. 主旨と目標」の表現を分かりやすいものに修正する。
- ・ 「推薦書」について
 - 専任職員・非専任職員の区分を入れてはどうか。応募用紙でわかる。
- ・ 「応募用紙」について
 - 参加資格項目の「図書館勤務」と「図書館職員」の区分がわかりにくい。募集要項の研修対象者の表現に合わせる。
- ・ 「講師謝礼等基準（案）」について（資料 5）
 - 「謝礼等の支払い対象」に「教員のみ適用」とあるが、財源次第であるものの、原則として交通費、宿泊費については職員も対象にする方がいいのではないかと。3 項の「謝礼等の支払いについては・・・」から「等」を削除し、教員のみ適用するのは謝礼に限定する。

能力開発専門委員会主査より、2 日目午後の班別討議の助言者として、運営委員会に対して要員 1 名の要請があり、京都大学から派遣することとした。

(2) 人材・研修データベース（仮称）作成のためのデータ収集

能力開発専門委員会主査より、（資料 6）により人材・研修データベースについて説明があり、データ収集のためのアンケート実施の提案があった。審議の結果、専門委員会で再度検討し直すこととした。審議の概要は以下のとおり。

- ・ 研修等を開催する際に、講師選定が難しいので、過去の研修の題目や講師のデータを収集し、活用したい。近畿イニシア参加機関に対して、これまでに開催した研修の題目・講師等のデータ提出を依頼する方法を考えている。
- ・ 機関から収集予定のデータについて、プライバシー保護の視点からは予め用途について了承を得れば専門委員会の内部だけで利用するなら問題ないが、講師本人の同意なしに公表することはむずかしいのではないか。
- ・ 研修等の広報資料（ちらしなど）に記載されているデータであれば、公開することが可能かもしれない。

(3) NII 教育研修事業国際シンポジウム（大阪会場）への協賛

能力開発専門委員会主査から、（資料 9）により NII 教育研修事業国際シンポジウムについて説明があり、大阪会場での開催について近畿イニシアの協賛とすることの提案があり、提案どおり了承した。

3. 地区内の能力開発事業の協調の検討

委員長より、（資料 14）に基づき、能力開発事業の共同開催やオープン化を行なう方向で、近畿地区の各団体と調整したいという説明があった。審議の結果、他団体の研修事業について能力開発専門委員会が調査を行なうこと、可能なことから調整を行なうことを了承した。審議の概要は以下のとおり。

- ・ 大学コンソーシアム京都においては、研修事業は近畿イニシアに移行させる合意ができている。
- ・ 私大関協京都地区協議会の相互協力連絡会研修会は、今後近畿イニシアと協調して実施したいと考えている。

4. 近畿イニシアにおける広報の流れ

広報・Web 専門委員会主査より、（資料 7）に基づき、近畿イニシアの広報について 4 点の提案がなされた。検討の結果、(1)ホームページおよび(4)印刷物による広報については、原案どおり了承した。(2)メーリングリスト、(3)RSS またはメールマガジンによる広報については、引き続き検討していくこととした。また、近畿イニシアの活動を紹介した論文や研修体験記など、近畿イニシア関連文献リストをホームページに掲載することとした。

5. 近畿イニシアのロゴマーク

広報・Web 専門委員会主査より、（資料 8）に基づき、近畿イニシアのロゴの提案があった。今後、他の案も含めて、メーリングリスト等で検討していくこととした。

6. その他

委員長より、今年度末で任期が切れることから、次期委員長館の選出方法について発議があっ

た。次期運営委員会の立ち上がりを早くするためにも、今年度内に次期委員長館を決めておきたいが、ローテーション制にするか、運営委員の交替があるか、各母体協（議）会で承認を得るためのスケジュールはどうかとの質問があった。意見交換の結果、委員長館は4協（議）会のローテーション制とするが、次期の2年間は、京大が委員長館を続けることとして、各母体協（議）会の承認を得ることとした。次期運営委員の交替についても速やかに各協（議）会で確認することとした。

II. 報告事項

1. 活動経過

(1) 事務局

- ・ 片山委員から、(資料10)の年間日程の訂正があれば報告すること、運営委員会の前回議事録はすでにホームページに掲載済みであること、国公立大学図書館協力委員会の委員長館が横浜市立大学に交替したことの報告があった。委員長から、国公立大学図書館協力委員会委員長館がJLA大学図書館部会長館になることになったという紹介があった。

(2) 能力開発専門委員会

- ・ 主査から、(資料11)により第1回から第3回会合での審議経過について報告があった。

(3) 広報・Web専門委員会

- ・ 主査から、近畿イニシア紹介パンフレット(資料12)について報告があった。この組織構成図に、監事館を追加することとした。

(4) 関係機関の動向

国立大学

- ・ 京都大学から、京都大学図書館機構第1回講演会(10.10)(資料13)の開催について紹介があった。
- ・ 神戸大学から、機関リポジトリシンポジウム(7.28)の開催結果について、報告があった。

公立大学

- ・ 大阪府立大学から、近畿イニシア共催で開催した公立大学協会図書館協議会研修会(7.27-28)について、追加配付資料により、以下の通りアンケート結果の報告があった。計81名の参加者があり、概ね好評だった。研修報告については、公大協のホームページに掲載予定である。
- ・ 大阪市立大学から、追加配付資料により「大阪市立大学学術情報総合センター開設10周年記念講演会」(11.10)の開催と学外にも公開するとの紹介があった。

私立大学

- ・ 関西学院大学から、私立大学図書館協会総会・研究大会(9.7-8)の報告があった。

その他

- ・ NII目録講習会開催大学から、応募状況について紹介があった。
京大：7.5-7に開催。学内応募者が多いので、毎年開催する必要がある。
大阪市大：8.23-25に雑誌コースを開催。学内2名、学外23名が参加。西日本を対象に開催したので、北陸、広島などからも応募があった。来年も雑誌コースを開催す

る予定。

関西学院大：9.20-22 に開催。25 名参加。最終日にテストを行ない、到達度を確認した。

神戸大：9.6-8 に兵庫県大学図書館協議会の事業として開催。公共図書館からの参加もあった。

III. 次回運営委員会の開催予定

第3回運営委員会は、1月頃に大阪市立大学を会場に行なうことを確認し、開催日程は、改めて調整することとした。